

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成28年2月5日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
PTA会長名	時任 文代

実施概要	実施活動名	ふとくフェスティバル
	実施日時	平成28年1月31日（日）
	実施場所	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
	実施目的	ふとくフェスティバルにおける学習発表や展示・販売活動を通して、交流校や近隣の学校、地域の人々など多くのふれあいの機会を設け、お互いの友好を深めたり、関わりを広げたりする。
	実施内容	児童生徒による学習発表（舞台発表）と、児童生徒作成による製品の展示・販売、PTAによるバザー活動
	実施方法	事前にポスターやチラシ、マスメディアを通して地域を含む鹿児島県下に告知する。午前中に学習発表、午後から作業学習等で作成した製品を販売する。物品バザーや食バザーは、PTAが主体となって実施する。
参加人数	児童生徒61人、保護者約80人、教職員39人、地域の方々約300人	

報告事項	内容	<p>【午前の部】発表活動（9：00～11：00）</p> <p>オープニング（5分）：児童生徒会 係の紹介（※時間短縮のため放送のみ）</p> <p>小学部発表（30分） 中学部発表（30分） 校長先生の話（3分）&休息</p> <p>高等部発表（舞台発表のおわりのことばを含める）（35分） 学級指導、販売準備【体育館会場転換】</p> <p>【午後の部】ふれあい活動（昼食・販売・買物等）（12：00～14：00）</p> <p>生徒製品販売 PTAバザー、食バザー</p> <p>【クロージング】（15分、プレイルームで実施）：児童生徒会 ①児童生徒会長の話、②PTA会長の話、③閉会宣言</p>
	結果	<p>当日は、天気にも恵まれ、多くの来校者がある中でふとくフェスティバルを実施することができた。今年も児童生徒たちは、「ふとくフェスティバル」に対する期待感を高めつつ、当日必要となる客とのやり取り方法や金銭の受け渡し方法などの学習に取り組んできたり、製品を丁寧に製作し販売準備をしたりしながら、事前学習に取り組んできた。それらの学習の成果を十分に発揮することができた。また、地域の方々が多く来校し、地域の方々とも十分に関わることができ、理解啓発の面でもよかったと考える。保護者主体で行われるPTAバザーや食バザーにおいては、業者委託の品物も増え、保護者の方々も余裕をもって地域の方と交流を図ったり、卒業生のいる福祉施設の製品を買いながら質問をしたりと、本校のことを地域の方々に知ってもらった交流の場となったとともに、学校卒業後の具体的な姿をイメージするきっかけもつかむことができたようであった。事前の新聞による告知や大学広報による周知、テレビ局による取材など、効果的であった。</p>
	所感	<p>今回も地域だけでなく、四附属学校園の貴重な交流の機会になった。今回のふとくフェスティバルでは、学校周辺の地域の方々、本学を含めた地域の方々、福祉関係の方々などこれまでよりも、交流できた人の範囲がさらに広がってきたように感じている。また、来年度は、本校の実践やPTAによる取組をさらに発信することで、特別支援教育及び福祉についての理解・啓発についても深めていきたいと考える。</p>

添付書類

収支決算書 領収書添付シート 参加感想 写真

ふとくフェスティバル(当日の様子)



オープニング(テーマ発表)



舞台発表「いいないっぱい小学部」



舞台発表「Our School Life」(中学部)



舞台発表「ブレーメンの音楽隊」(高等部)



PTA食バザー…当日券はすべて完売!



鹿児島大学キャラクター「さっつん」も登場



気合いを入れて、さあ、売るぞ!(中学部)



たくさんの製品を作りました(高等部)



クロージング(閉会式)

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成28年2月5日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
学年	中学部

- ・ぼくががんばったことは、ダブルダッチのなわの中で走ることです。成功したので、とてもうれしかったです。テレビにも出ました。（中学部2年男子）
- ・わたしは、販売で、はし置きとガーデンピックを売りました。買い物で、ストラップとかがきを買いました。（中学部3年女子）
- ・舞台発表では、ビリーブの曲に合わせて、トーンチャイムで演奏をしました。せりふを大きな声で言うのががんばりました。販売活動では、お客さんに「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」を言ったり、会計の仕事をがんばりました。（中学部3年女子）
- ・舞台でみんなでダンスをしました。楽しかったです。窯業班で、お皿を売りました。全部売れました。（中学部3年男子）
- ・ふとくフェスティバルで、ダンスをおどったり、せりふを大きな声で言ったりしました。がんばりました。販売活動では、お客さんに「いらっしゃいませ」と言ったり、商品をならべたりしました。お父さんとお母さんも来てくれて、ありがとうございました。（中学部3年男子）
- ・ふとくフェスティバルがありました。上手にできました。「いふうどうどう」をしました。またやりたいです。（中学部1年男子）
- ・ふとくフェスティバルをしました。家族が来てくれました。舞台発表では、トーンチャイムを演奏するのが楽しかったです。ふとくフェスティバル大成功！（中学部1年男子）

カンガルーシップ活動
理解プロジェクト参加感想

提出日	平成28年2月5日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
学年	高等部

【国語の授業より（「ふとくフェスティバル」を振り返ろう）】

- ・ 製品が たくさん売れて うれしいな
- ・ まもるくん マラカス持って 熱くなる
- ・ ロバの役 せりふを言うの ドキドキだ
- ・ 販売会 たくさん売れた うれしいな
- ・ みんな来て おまつりさわぎ 盛り上がる
- ・ 品物を 袋に入れて 渡したよ
- ・ おんどりに なりきり叫ぶ 「コケッココー」

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日 平成28年2月5日

学校名 鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

・ふとくフェスティバルの開催により、保護者が中心になって作ったお店の商品を、子どもたちが買いに行くことで、いつもと少し違った子どもの姿を見ることができ、親子の交流をもつことができました。

また、子どもたちが作業等で一生懸命制作した作品をバザーで販売することで、子どもたちには将来の進路に対する意識付けをすることができたとともに、外部の方々に「どんな活動をしているのか」ということを知っていただけるいい機会になったと思います。

日ごろ接する機会の少ない外部来校者の方々と販売を通して保護者も子どもたちも交流することができて、お互いの理解を図ることや親睦を深めることができ、良かったと思いました。（PTA役員）

・当日は天候にも恵まれ、昨年度以上に多くの方々に御来校いただきました。参加者として、在校生の両親、兄弟、祖父母、放課後デイサービスでお世話になっている方々、卒業生、OBの先生方、地域の方々、附属小学校の子どもたちとその保護者の皆様に来ていただき、午前中の舞台発表では立ち見が出るほど。午後からの販売活動では、生徒の製品もたくさん売れ、また、食バザーでも当日券が完売するなど、大盛況でした。

当日の様子をテレビ局に取材してもらいましたが、本校の教育活動と障害のある子どもたちの活躍ぶりを県下に紹介することができて、とてもよかったと思います。（PTA役員）

・午前中の舞台発表、午後からの販売活動・食バザーについて、効率的に仕事も分担され、うまくいきました。我が子だけではなく、他のお子さんや普段あまり接することのないお父様・お母様方と色々なお話ができて、充実した1日となりました。（PTA役員）